



「長崎っ子の心を見つめる教育週間」7/11(月)～7/16(土)

長崎県では、平成16年から「長崎っ子の心を見つめる教育週間」として教育週間が始まりました。すべての公立学校で教育活動を公開する教育週間の実施を通して、学校と保護者や地域住民が連携し、「地域の子供は地域で育む」という気運を高め、大きな成果を上げてきました。命を輝かせて生きる、心豊かな長崎っ子の育成を図るため「命を大切に作る心や思いやりの育成」「あこがれや将来への志の育成」「あいさつやマナーの向上」の3つを大きな目的として全県下で取り組みます。大村市においては、7月1日をはさむ1週間で実施する中で「土曜授業」を実施することとされています。今年度は7月6日(土)となっており、玖島中では下記の内容と時程を予定しています。1校時目は各学級における「道徳の公開授業」、2校時目の「命を見つめる集会」では、日本赤十字社長崎原爆病院の医師、松本恵様をお招きします。多くの方が様々ながんを発症する現代において、将来を担う子供たちが「がん」について正しく知り、怖がりすぎることなく「自分ごと」として捉えることで、「がん患者への理解と共生」「自他の健康と命の大切さ」に気づくお話をいただきます。(短学活後、生徒は下校)そして3校時目は「メディア使用について」学級評議員さんを中心に学級PTAを展開していただくことを橋本会長さんを通じてお願いしています。デジタル化の進展やアフターコロナで生徒を取り巻く生活環境が大きく変容する中、様々な変化にも対応できる力を育てていくことが大切です。

7/6(土)土曜授業の時程

⇒ふるってご参観・ご参加ください。

	内容	場所	内 容
	時 間		
①	道徳	各教室	主題:生命尊重 各学年の題材による道徳の授業
②	講話	体育館	命を見つめる集会 医師:松本 恵 様 講話「がん」について知ってもらいたいこと
③	講演	体育館	学級PTA テーマ:メディア使用について

玖島の誉れ

R6.5.29 表彰伝達分(敬称略)

「第21回全日本年賀状大賞コンクール」	奨励賞	本山環
「非行事故防止、明るい家庭づくりポスター」中学生の部	最優秀賞	中村未来
令和5年度大村市民バドミントン大会中学2年女子ダブルス	優勝	馬場ゆきな 與崎由衣
令和5年度大村市民バドミントン大会中学2年女子ダブルス	準優勝	松添優菜 坂口乃唯
令和5年度大村市民バドミントン大会中学2年女子ダブルス	3位	平野陽菜 濱口和奏
令和5年度大村市民バドミントン大会中学1年女子ダブルス	3位	富永侑里 本田楓夏
令和5年度大村市民バドミントン大会中学1年男子ダブルス	準優勝	野中柊哉 上野泰汰
令和5年度第14回九州ブロックUI4クラブチャンピオンシップ男子バレーボール大会	優勝	大村クラブ
令和6年度大村市春季バドミントン大会3部女子シングルス	準優勝	坂口乃唯
令和6年度大村市春季バドミントン大会3部女子ダブルス	3位	平野陽菜 濱口和奏
令和6年度大村市春季バドミントン大会3部女子シングルス	3位	松添優菜
令和6年度大村市春季バドミントン大会3部男子ダブルス	3位	宮崎一磨 田中翔大
令和6年度大村市中学生観戦ソフトテニス大会(男子)	準優勝	中馬颯太 豊田大貴
令和6年度大村市中学生観戦ソフトテニス大会(女子)	3位	中馬愛里 福田百彩
令和5年度大村市バスケットボール協会長杯中学校バスケットボール大会	準優勝	女子バスケットボール部
第35回諫早市長杯争奪中学校スポーツ選手権大会 剣道競技男子個人	優勝	岩坂俊太郎
第35回諫早市長杯争奪中学校スポーツ選手権大会 剣道競技男子団体	準優勝	男子剣道部
令和6年度大村市中学生バドミントン春季大会男子ダブルス	3位	濱村歩 富永侑斗
令和6年度大村市中学生バドミントン春季大会男子シングルス	優勝	茂見怜歩
令和6年度大村市中学生バドミントン春季大会女子シングルス	準優勝	松添優菜
令和6年度大村市中学生バドミントン春季大会女子シングルス	3位	坂口乃唯
令和6年度大村市中学生バドミントン春季大会女子ダブルス	準優勝	馬場ゆきな 與崎由衣
令和6年度大村市中学生春季バレーボール大会	準優勝	男子バレーボール部

- 3日(月) 振替休業日(市中総体:8日(土))
- 4日(火) 教育実習終了(4週間)
- 5日(水) 市中総体選手激励会
- 8日(土) 大村市中総体(球技・武道・陸上)
- 9日(日) 大村市中総体(球技・武道・体操・水泳)
- 10日(月) 振替休業日(市中総体:9日(日))
- 11日(火) 市中総体(陸上)、2年内科検診※弁当(給食なし)
- 15日(土) テスト前部活動停止(～20日)
- 16日(日) 家庭の日
- 19日(水) 3年歯科検診
- 20日(木) 期末テスト①(全学年)、避難訓練
- 21日(金) 期末テスト②(全学年)
- 24日(月) 市中総体(陸上)予備日
- 25日(火) 1年内科検診
- 26日(水) 表彰伝達
- 28日(金) OMURA未来塾開講式



飛耳長目

話の仕方や言葉の発し方次第で、他人への伝わり方は良くも悪くもなり、言葉一つで相手を喜ばせたり、悲しくさせたりするため大切にしなければなりません。例えば何かを尋ねられた時「知りません」と素っ気なく言うより、「私もよく知らないんです。すみません」と返せば、角が立たないかもしれません。日本人は、言葉にも靈魂があるとて「言葉(ことば)」と「言霊」の信仰は昔のことにしても、人を励まし力を与える反面、冷たい氷の刃となり、人の心に深い傷あとを残してしまうこともあります。人を大切にすると相手意識をもつことが、自分の心の寛さや深さ、温かさを養うことにつながります。「言葉」と「心」という文章を紹介いたします。

- 一つの言葉でけんかして
- 一つの言葉で頭が下がり
- 一つの言葉で笑い合い
- 一つの言葉で泣かされる
- 「はい」という素直な心
- 「お陰さまで」という謙虚な心
- 「わたしがやります」という奉仕の心
- 「すみません」という反省の心
- 「ありがとう」という感謝の心